



真 誠

学校だより No. 7
西東京市立田無小学校
令和8年1月8日



大いなる「挑戦」の年に

校長 鈴木 優介

令和8年の新春を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。いつもは「干支」に関心の薄い私ですが、年末年始の時期になると、急に意味や由来等が気になり、調べたくなってしまいます。詳細は割愛させていただきますが、「丙」は「太陽のように明るく情熱的なエネルギー」を、「午」は「力強く前進するエネルギー」を象徴しているそうです。つまり、「丙午」の年は、「強い熱意や情熱が形になる年」と考えられており、新しい「挑戦」を始めるのに最適な年とも言われています。

「挑戦」。私はこの言葉が好きです。人間の成長は、様々な「挑戦」の積み重ねによって実現していくものだと考えています。そして、人の教育に携わる学校現場には、数多の「挑戦」の形があります。人の前に立って意見を発表すること、九九の暗唱、鉄棒の逆上がり、給食における苦手な食材の克服、委員会での役員への立候補、音楽会でのピアノ演奏…。もちろん、人によって得手不得手がありますから、大仰に「挑戦」と意識していない人もいるでしょう。しかし、多くの場合においては、不安や重圧を感じる中で踏み出す一歩目に、大きな勇気を必要とします。そして、課題を成し遂げるために、粘り強い努力の継続が求められます。それが「挑戦」です。

一方で、昨今の若い世代や子どもたちが、失敗を恐れるあまり、「挑戦」を回避する傾向にあるというデータもあります。ある企業の報告によると、若手の社員には効率を重視する考え方（タイムパフォーマンス）が色濃いそうです。そのために、リスクや手間をとることを避け、すぐに「正解」を求めたがる傾向にあるようです。当然ですが、若者世代を十把一絡げに定義付けるわけではありません。ただ、デジタルネイティブ世代ということもあり、SNSを駆使しながら最短ルートで「正解」に辿り着くことに慣れていることは、ひとつの要因として挙げられています。詳しい人に質問をする、図書館で調べる、そのようなルートは回りくどく、古臭いと思われるのかもしれませんが。

確かに、「挑戦」には、成功もあれば失敗もあります。試行錯誤を重ねて「挑戦」した結果、残念ながら失敗に終わってしまうこともあります。もしかすると、成功よりも失敗に終わる「挑戦」の方が多いのかもしれませんが、しかし、はたして失敗は無駄なことなのでしょうか。20世紀最大の物理学者と言われたアインシュタインは、「一度も失敗したことがない人は、新しいことに挑戦したことがない人間である。」という言葉を残しています。実業家の孫正義さんは、「挑戦なくして前進なし」と語っています。これらの言葉が伝えるように、私自身も「挑戦」は大きな成長の機会であると考えます。労力や手間をマイナス要素と捉えるのではなく、失敗を次への糧として生かせる強さが、成長には不可欠です。「丙午」の2026年も、子どもたちには大いなる「挑戦」を続けてほしいと思います。

さて、今日から3学期が始まりました。3学期はこれまでの学習をまとめ、整理すると共に、来年度への計画を立てる学期です。この1年間の成長や自己の課題をしっかりと自覚し、さらなる発展を期する学期でもあります。そのためにも、子どもたちにはそれぞれの「挑戦」を積み重ねて、新学年に向けて各々の力を大いに充実させてほしいと願っています。今年も「笑顔いっぱい!元気いっぱい!力いっぱい!」の子どもたちの育成を目指して、教職員一同、心をつ一つにして努力してまいります。皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月の主な行事予定

8	木	始業式 午前授業
9	金	安全指導 給食始 席書会1日目
13	火	席書会2日目
14	水	校内書写展始
15	木	避難訓練
16	金	市児童作品展始(18日まで) 巡回型音楽鑑賞教室(5)

19	月	クラブ活動 クラブ見学(3) 短なわキャンペーン始
20	火	
21	水	がん教育(6)
22	木	水曜時程5時間授業
23	金	
24	土	土曜授業 土曜時程 校内書写展終 道徳授業地区公開講座
26	月	委員会
27	火	
28	水	
29	木	短なわキャンペーン終
30	金	

※今月のスクールカウンセラー来校日は、16日、19日、26日です。
相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に 463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。